

第11回 福祉の仕事を知るための 見学バスツアー報告



平成27年10月22日に福祉の仕事を知るための見学バスツアーを開催いたしました。今回は、4ヶ所の事業所にご協力をいただき“福祉の仕事の魅力”を精一杯お伝えすることができました。ご参加いただいた皆さん、ありがとうございました。次は、現場で働く仲間としてお会いできるかもしれませんね^^さて、各事業所見学の様子をお伝えします！！

1. そつ啄の会光明寺（共同生活援助）



138タワーの程近く、閑静な住宅街に「そつ啄の会光明寺」はありました。中に入ってみると天井も高く、木がふんだんに使用されており、とても素敵な雰囲気です。

法人内の他のグループホームと交流会としてほたるを見に行ったり、バーベキューをしたり賑やかな行事もありますが、生活を支えるために安心して、くつろげる生活の場を提供するように心掛けている、と職員さんからお話を伺いました。

近くの公園で四季の移ろいを感じながら、職員さんに支えられて日々を重ねる…。現在定員で埋まっている7部屋の利用者さんの生活を垣間見ることができ、穏やかで力強い皆さんの歩みの先行きが楽しみです。

2. 浅井商会（就労継続支援A型）

休みなく動く機械音とともに、使用済おしぼりの選別・洗浄・包装・検品・出荷用箱の洗浄という、様々な作業過程において、男女別に分かれ、担当する作業に真摯に取り組む利用者さんの姿がありました。男性の中には20年以上も勤続されているベテランの方もいらっしゃるそうです。女性が行う検品作業においては、折りが正確か、小さなゴミがついてないか等、2度3度と入念にチェックする丁寧なシステムができていました。



施設管理者の吉田さんからは、障害者の方とともに歩んできた歴史とともに、「会社の仕事に貢献してくれているという思いで障害者の方に感謝している。一人ひとりの悩み、対面している課題に向き合いたいと思っている。就労という分野から、地域の支援者の方と連携していきたい。」という思いを語っていただきました。今回の見学を通して、障害があってもなくても、皆が共存できる社会の縮図を拝見した気持ちになりました。

3. ひな小町（就労継続支援B型）

デイサービスセンターひなの花（放課後等デイサービス）



7月に開所したばかりの真新しい事業所「ひな小町」で無農薬野菜をふんだんに利用したお弁当をいただきました。野菜を切る人、揚げ物をする人、盛り付けをする人と分担して調理を行い、普段は事業所を利用するお年寄りや子供たちの昼食を作っています。前日から仕込みをしてくださったお弁当はすべて手作り。味だけでなく、おかずの種類が豊富だったことにも参加したみなさんは喜んでみえました。

昼食後は2階にある「ひなの花」を見学しました。子どもたちが遊びや体験を通して、人との関わりや社会のルールを学んで成長していくことができるような支援がされているお話を伺うことができました。子どもたちの「できた！！」という笑顔にスタッフの方たちも支えられているすてきな事業所でした。



4. いずみ第2作業所（就労継続支援B型・生活介護）

いずみ福祉園（施設入所支援）

作業室では、ひとりひとりスキルにあった作業をされていました。

廊下の隅の構造化された場所で、1人で踊っているかのように大きく身体を動かして見える方がいました。職員さんにお聞きしたら、「糸取りをしているんです」と言われました。彼のスタイルでお仕事されているのだなあと思いました。

いずみ福祉園にて、利用者様の一日の生活のビデオを見ました。利用者様の生活を支えているスタッフの皆さんの笑顔や頑張っている姿と、日々楽しく過ごされている利用者様のつながりの絆を見ることが出来ました。

自主販売のシフォンケーキは、あっという間に完売しちゃいました。新作の「マカロン」美味しかったです♡



次回は、平成28年5月を予定しています。さて、次はどこに行きましょう～♪
また、たくさんの参加をお待ちしております！！